

# アコヤガイモニタリング調査結果（最終版）

（調査日：令和5年11月24日）

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

## 1 調査結果の概要

- ・真珠層の褐変個体は確認されなかったが、全海域で感染からの回復に伴う段のある個体が確認された。
- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は、前月に引き続き全海域で高く良好な状態であった。
- ・貝柱の赤変個体は確認されず、赤変度合を示す a 値の平均値は低かった。
- ・前月に比較して卵を持つ個体が増え、貝肉の充実が見られた。
- ・宇和海全域で7月下旬以降高めに推移していた水温は、10月上旬以降は平年並みに推移している。
- ・前年同期に比較して貝の状態は良いと判断され、今後、水温が低下していくことから、大きく悪化する可能性は低いと考えられますが、引き続き貝の管理には十分注意してください。

## 2 調査結果一覧

（ ）内は昨年同月の値

漁場 <sup>*1</sup>	貝の種類 (R4産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝 <sup>*2</sup>	19.6(5.3)	-0.3(-0.2)	0	0 (45)
中部①	日中交雑貝	11.6(2.0)	-0.9(1.6)	0	0 (35)
中部②	日中交雑貝	7.5(2.7)	0.4(0.4)	0	0 (5)
南部	日中交雑貝	3.9(1.4)	0.8(0.8)	0	0 (0)
平均値		10.7(2.9)	0.0(0.7)		

\*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

\*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

## 3 調査方法

- ・5月から11月まで月1回（概ね第3週）、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日2日前をめぐりに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝（2年貝）。

## 4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量 (%)：アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a 値：閉殻筋（貝柱）の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。

赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。